

弊社総合研究所の環境調査結果について(2)

大宮市は、8月16日の弊社報告を受けて実施した弊社総合研究所の周辺地下水の調査結果を先ほど発表しました。この発表によれば、カドミウムについては、環境基準(0.01mg/l)を超える数値は検出されませんでした。セレンについては、研究所敷地外の北部1ヶ所から環境基準(0.01mg/l)を超える数値(0.014mg/l)が確認されたとのことであります。

弊社といたしましては、環境基準を超える数値が1ヶ所とはいえ、研究所敷地外から検出された事態を重く受け止め、周辺住民の皆様にご心配、ご迷惑をおかけしたことに對し、心からお詫び申し上げます。

研究所敷地外の環境調査は、大宮市が実施した周辺井戸水調査のほか、周辺住民の方から弊社に對し分析依頼のあった井戸水も調査しており、先ほどの大宮市の発表と弊社調査結果を総合いたしますと、周辺環境の調査結果は次のとおりとなります。

	大宮市調査結果	弊社調査結果	合計
●調査件数	20件	12件	32件
●カドミウム環境基準を超えるもの	0件	0件	0件
●セレン環境基準を超えるもの	1件	0件	1件
●鉛環境基準を超えるもの	0件	0件	0件

弊社はこの調査結果をふまえて、地下水の浄化対策に早急にかつ全力を挙げて取り組む所存であります。具体的には第一に環境基準を超えるセレンが検出された井戸周辺への影響を遮断するため、研究所敷地塀際に約175メートルに亘って遮水壁(鋼矢板)を設置し、第二にその外側に集中的に揚水パイプを打ち込み(当面20本程度を想定)、周辺地域の地下水の浄化に努めてまいります。

さらに汚染源と思われる環境基準を超える数値が検出された総合研究所敷地内についても、揚水井を現状より20ヶ所増やし、合計31ヶ所にて揚水処理を行い、浄化作業を強力に進めることとしております。

これら構所内外については、ともにモニタリングを実施し、揚水処理の効果測定を実施するとともに当社の講じる対策につきましては、都度大宮市にご報告いたします。

今回の弊社施設構内での地下水汚染によって周辺の住民の皆様にご心配とご不安をお招きいたしました。弊社としては上記対策を徹底して実施するとともに、この機会に弊社が推進しているGPM活動(環境と調和のとれた事業活動)を更に強化して、社内の環境問題に取り組んでいく所存です。

以上